

建設情報 *Iwate*

県北への産技短の新設など

検討会議 職能開発施設の再編整備へ

県は県立職業能力開発施設の適正配置と訓練内容の充実などに向け、「県立職業能力開発施設再編整備基本計画」の策定を進めている。9日には有識者会議である検討会議の初会合が開かれ、基本計画の策定方針について意見を交わした。基本計画の策定に当たっては、県立産業技術短期大学の県北圏域への新設などが論点になっており、今後は分科会で具体的な議論を進め、9月をめどに中間案を取りまとめ、27年5月の成案化を目指す。

基本計画は、職業能力開発を取り巻く環境や企業ニーズの変化、本県が進める産業政策などを踏まえ、技術・技能者を養成するとともに、多様な求職者等のニーズに応じた職業能力開発を行うため、施設の適正な配置、訓練内容の充実などを図ることを目的に策定する。計画期間は、27～36年度の10カ年とする。

現在の県立職業能力開発施設は、県立産業技術短期大学本校、同水沢キャンパス、千厩高等技術専門学校、宮古高等技術専門学校、二

戸高等技術専門校の5施設があり、新規学卒者を対象に主に2年課程の職業訓練を行っている。いずれも定員充足率が低下傾向にあり、直近2年の動向を見ると、産技短本校は9割を割り込み、水沢キャンパスは5割を割り込んでいる。技専校は千厩校は25年度は5割、宮古校では直近2年は5割を割り込み、二戸校は22年度以降5割を割り込んでいる。

また、各施設ともに老朽化が進行しており、県の公共施設カルテによると、技専校の千厩校と宮古校については「解体」との評価が出ている。

これらの現状を踏まえて、県では基本計画の策定方針を取りまとめ、本県の職業能力開発施設の課題や、再編に向けた検討の方向性などを示した。職業能力開発施設に関する課題としては「入学者数の減少」「施設の老朽化」「県北への産技短の新設」の3項目を設定。このうち県北への産技短の新設については、「県北圏域をはじめとした産業人材の育成・確保」「人材育成を通じた県北圏域を中心とした産業振興」などの課題を挙げている。整備に当たっては建設コストの観点から既存施設の活用も選択肢にあるとして、施設の再編整備が必要であるとしている。

基本計画の策定に当たっては、有識者会議である「県立職業能力開



県立職業能力開発施設再編整備検討会議

ニュースのお知らせ

〒020-0015 盛岡市本町通3-9-33
本社編集部へ
TEL (019) 623-8201
FAX (019) 623-8204

26年度当初予算への反映状況 ③

県の25年度公共事業継続評価の26年度当初予算への反映状況は次の通り。路線名等に続き①箇所名②事業期間③主な事業内容④総事業費(千円)⑤25年度までの事業費⑥25年度まで進捗率⑦総合評価⑧B/C⑨政策への反映状況⑩26年度予算額一の順。金額の単位は千円。

農林水産部

〈農村地域防災減災事業〉
▽大堤①矢中町②2025～2027年度③ため池改修1式④301,000⑤2,000⑥6.6%⑦A⑧1.47⑨事業継続⑩60,000

▽北照井堰①一関市、平泉町②2015～2032年度③用水路9416m④2,366,100⑤1,237,389⑥52.3%⑦A⑧1.28⑨事業継続⑩50,000

▽白根沢堤①奥州市②2022～2026年度③ため池改修1式④568,000⑤498,000⑥87.7%⑦A⑧1.56⑨事業継続⑩30,000

▽大原堰①奥州市②2019～2026年度③用排水路2350m④369,400⑤340,664⑥92.2%⑦A⑧1.11⑨事業継続⑩17,000

▽油井名沢①一関市②2021～2028年度③ため池改修1式④382,000⑤154,263⑥40.4%⑦A⑧1.05⑨事業継続⑩60,000

▽樋茂井①奥州市②2017～2026年度③用水路4990m④664,500⑤633,485⑥95.3%⑦A⑧1.35⑨事業継続⑩7,000

▽猿ヶ石北部幹線①奥州市②2015～2027年度③用水路5901m④459

ンで職業訓練を行う仕組みも考えられる」「県北に産技短を新設する場合、エリア内にいる中高生の数が分からなければ、どのような施設が必要か見えない」などの意見が上がった。

今後は、検討会議で上がった意見などを踏まえて、基本計画策定を進める。計画策定に当たっては「高等技術専門校の再編・産業技術短期大学の県北への設置」「在職者訓練等の在り方」という二つの分科会を設置し、9月をめどに中間案を取りまとめ、以降は県議会への報告やパブリックコメント、2回の検討会議を経て、27年5月には成案の取りまとめを行い考え。

7,100⑤540,190⑥90.5%⑦A⑧1.20
⑨事業継続⑩20,000
〈復旧治山事業〉
▽生田町①久慈市②2025～2027年度③谷止工3基、山腹工1式④161,000⑤5,000⑥3.1%⑦A⑧6.05⑨事業継続⑩0
▽志戸前川①雫石町②2019～2027年度③谷止工4基、溪畔林整備1式④987,000⑤525,683⑥53.3%⑦A⑧9.97⑨事業継続⑩100,000
▽杉沢①八幡平市②2020～2027年度③床固工23基、流路工1386m④854,700⑤326,299⑥38.2%⑦A⑧1.49⑨事業継続⑩96,000
▽川貫①久慈市②2025～2028年度③谷止工2基④90,500⑤11,236⑥12.4%⑦A⑧8.32⑨事業継続⑩46,000
▽繋①葛巻町②2025～2027年度③谷止工5基④213,000⑤68,201⑥32.0%⑦A⑧1.52⑨事業継続⑩0
▽田岡①一戸町②2025～2027年度③谷止工3基④90,000⑤38,000⑥42.2%⑦A⑧4.00⑨事業継続⑩5

2000
▽緑区②①普代村②2025～2028年度③谷止工2基、山腹工1式④90,000⑤11,000⑥12.2%⑦A⑧2.77⑨事業継続⑩43,000
▽鈴久名①宮古市②2023～2030年度③山腹工1式④993,000⑤179,526⑥18.1%⑦A⑧1.30⑨事業継続⑩130,000
▽上長内①久慈市②2024～2026年度③谷止工2基④80,000⑤47,396⑥59.2%⑦A⑧2.75⑨事業継続⑩0
▽坂本沢①大船渡市②2020～2026年度③山腹工2.38ha④697,638⑤519,962⑥74.5%⑦A⑧1.86⑨事業継続⑩0
▽小谷地①野田村②2025～2028年度③山腹工1式④200,000⑤36,000⑥18.0%⑦A⑧1.54⑨事業継続⑩0

(つづく)

購読のお申し込みは
☎019-623-8201 販売局まで

いわて防災学教室

災害から学び、災害に備える



田老の防潮堤が次代に託す「教訓」

岩手大学理工学部システム創成工学科教授 小笠原 敏記

東日本大震災から15年。岩手県宮古市田老地区にそびえ立つ巨大な防潮堤を見上げると、さまざまな思いが去来する。

かつて、「万里の長城」と呼ばれた旧防潮堤は、世界に誇る防災の象徴だった。しかし2011年3月11日、津波はその壁を越え、崩壊した。その事実も、「コンクリートの壁にも限界がある」という冷徹な現実を私たちに突きつけた。けれども、堤防が無効だったわけではない。津波の勢いを弱め、避難のための数分間を生み出したのもまた、事実である。

震災後、田老には新たな防潮堤が建設された。高さ14.7メートル。「粘り強い構造」を取り入れ、たとえ津波が越えても崩壊しにくい工夫が施されている。しかし、最も大切なのは「構造物があるから絶対安心」と過信しないことだ。自然の力を完全に抑え込むことはできない。田老の歴史が教えるのは、「備え」と「不信(過信しないこと)」の両立である。

防潮堤は、命を守る重要な設備だが、それだけでは不十分だ。早めの避難、家族との避難場所の確認、地域での声掛け。ハードとソフトが組み合わせられて初めて、防災は真価を発揮する。

建設業界は今、人手不足や資材高騰など厳しい状況下にある。それでも、インフラを守り、次なる災害に備え続けることは、この国で暮らす人々の安全に直結する使命だと確信している。

田老の防潮堤は単なる壁ではない。命を守りたいという強い願いと、震災の教訓が刻まれた「誓い」の碑でもある。「構造物の限界を知り、自らも備える」という姿勢。この思いを次の世代へと語り継ぐことこそ、震災を経験した私たちの責務ではないだろうか。

※いわて防災学教室のバックナンバーは、岩手大学地域防災研究センターのホームページ「公開情報」で閲覧できます。

壁にも床にも耐久性を！
植物性コンクリート塗膜養生剤 **SoyShot-20**
人に、地球にやさしく、強靱長寿命化を実現する。

NETIS KT-210103-VE

環境にやさしい 地球にやさしい 人に安全 植物性でVOCの発生がない 植物性で生分解が容易 生物に安全 植物性で生分解が容易

品質 強度を発生 水和収縮を促進 コンクリート構造物の耐久性向上 耐久性を向上 乾燥収縮率14%改善 透気係数の向上

本製品は今までに無かった100%植物系の塗膜養生剤です。鉛物系ではないので重金属等、VOCを含まず、生分解も容易なので、ご使用にあられる人と地球環境にやさしいことは勿論のこと、資源の枯渇の心配もないサステナブル(持続可能性)な製品です。

本社 埼玉県川越市鯉井1705-2
問合せ先 Tel 049-231-0872 Fax 049-234-3513
Mail kanri@hazkari.jp

HAZKARI 初雁興業株式会社

NETIS登録 ICT施工対応
水陸両用ブルドーザ
登録番号: QS-220011-VE
令和7年度活用促進技術

特徴01 水深7mまでの浅水域で大活躍 無線遠隔操縦

特徴02 通年施工が可能 直接水中に入るため軽微な仮設で施工可能 川の増水時 自走で退避できる

特徴03 マシンガイダンス機能搭載 施工状況をリアルタイムに把握・記録することが可能

青木あすなろ建設 つながる力を、創り出す力に。 TakaMatsu Group

詳細はこちら

NETIS登録技術紹介

NETIS登録技術紹介
NEW TECHNOLOGY INFORMATION SYSTEM

中温化(低炭素)アスファルト混合物 **ECOフォームド**

フォームド技術とは
フォームド技術は、アスファルト内に少量の水を噴霧して発生させた微細な泡のベアリング効果により、アスファルト混合物の製造温度や施工温度を最大30℃程度下げても品質や施工性が確保できる技術です。

ECOフォームドを使うと……
① CO₂排出量を削減できる
② しっかりと、早く締め固まる
③ 従来品通りリサイクルできる

株式会社 NIPPO
https://www.nippo-co.jp
この道の先に NIPPO
東北支店 NETIS登録番号 HK-240005-VE
☎(022)262-1511

ECOフォームドでCO₂を削減
アスファルト混合物の製造温度を30℃下げること
□ 混合物1tあたり3kgのCO₂削減

CO₂排出量の比較
通常のアスファルト混合物 CO₂排出量 3kg/前量
ECOフォームド CO₂排出量 0kg/前量

ECOフォームドで地球環境に貢献
□ カーボンニュートラルやSDGsをアピールできます
NIPPOが考案するアスファルト混合物のCO₂(サプライチェーン)排出量のイメージ(Scope1-2-3)

上流 原材料の再利用 原料の燃焼 製品の燃焼
Scope3 Scope1 Scope2 Scope3

お客様はScope3の排出量削減としてカウントできます。サプライチェーンにおける実活動の削減に貢献します。施工面積に応じて「CO₂削減量計算書(一次データ)」を発行します。

国土交通省新技術情報提供システム
NETIS登録
ICTを活用した自動運転草刈機
NETIS掲載期間のみ有効
【登録番号】HR-250005-A

■タブレットで作成したルートに沿って自動運転
■転倒・転落等の危険を低減し安全性が向上
■過去のデータを読み込み、自動運転可能

豊かさを創造し、未来へ挑戦する
株式会社アテックス
■本社 TEL (089) 924-7161(代) / (089) 924-7162(営業直通)
FAX (089) 925-0771

※自動運転操作は、アテックスの使用者訓練を修了した方のみ操作可能です。